

旧竹林院

坂本町にある竹林院は、元々は、歳を取った僧侶たちが住み込みで簡単な仕事を行う小規模の寺院「里坊」でした。坂本は里坊が多いことで有名で、そこでは、比叡山のお堂で長年修行してきた僧侶たちが、坂の下で晩年を心穏やかに過ごしていました。坂本にはかつては80軒の里坊がありましたが、現在は54軒しか残っていません。竹林院は、一般公開されている数少ない元里坊です。

竹林院は1592年に創建され、明治時代（1868-1912年）以降は僧侶は居住していません。静かな環境を残した3,300平方メートルの敷地内には、本堂、2つの茶室、緑豊かな庭園などがあります。

苔むした庭園は、比叡山の下流にある八王子山や日吉大社のお堂を借景に利用し、静かな瞑想のために設計されています。日吉大社を流れる大宮川から引かれた水が庭園の周りを流れ、せせらぎや小さな滝を作り出しています。非常によく保存された庭には、様々な植物が植えられており、1年を通して色合いを楽しめます。夏には白からピンク色に染まったサルスベリの花、秋には赤やオレンジ色に染まった紅葉が地面を埋め尽くします。

この風景は、1898年に建てられ、大津市の文化財に指定されている2階建ての本堂から楽しむことができます。2階の居室は二面を庭に面しており、写真を撮る際の人気のスポットとなっています。漆塗りの木製テーブルの上にカメラを置くことで、庭だけでなく、テーブルの天板に映る庭の様子を撮影でき、独特のシンメトリーを持った画を作り出すことができます。